

(2012 年 12 月 13 日収録分～12 月 17 日配信予定)

1 週間のニュースから

◇ ピックアップ(12/6～12/13)

【印刷業界ニュース】

- ◆ **【大日本印刷:カーボンフットプリント】**大日本印刷、CFP 活用したカーボン・オフセット製品試行事業に参加(12/12:印刷ジャーナル)

<http://www.pjl.co.jp/news/major/2012/12/4602.html>

大日本印刷(株)は、経済産業省が環境省などと連携して推進している「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に参加する。

この試行事業は、製品のライフサイクルにおける CO2 排出量を算定するカーボンフットプリント(CFP)を活用し、算定した CFP 値とオフセットしたクレジット量を確認し、100%のカーボン・オフセットを実施した製品であることを認証するための手続きやルールを検証するもの。

- ◆ **【京都府印刷工業組合:街頭宣伝活動】**京印工組、街頭宣伝活動で印刷の可能性を提案(12/12:印刷ジャーナル)

<http://www.pjl.co.jp/news/group/2012/12/4595.html>

京都府印刷工業組合(瀧本正明理事長)は、12 月 9 日午後 1 時頃から約 1 時間にわたり、京都四条河原町「京都マルイ」前の歩道において、恒例の街頭宣伝活動を行った。

当日は組合有志が「京すりもの」とプリントされたお揃いのはっぴをはおり、京都市民に AR(拡張現実)機能を組み入れた「京すりものカレンダー」を配布。印刷と電子媒体を融合した新しい付加価値の可能性を提案するとともに、組合員事業所ならびに組合が取り組んでいる活動をアピールし、業界の PR に努めた。

- ◆ **【日本印刷産業連合会:GP 工場認定】**日印産連、第 26 回 GP 認定で新規 7 工場と GP 資機材 44 製品を認定(12/12:印刷ジャーナル)

<http://www.pjl.co.jp/news/environment/2012/12/4599.html>

(社)日本印刷産業連合会(足立直樹会長)は、12 月 10 日開催の第 26 回グリーンプリンティング(GP)工場認定委員会において新規 7 工場と更新 33 工場を認定。今回の認定により全体の GP 認定工場は 298 工場となった。

また同委員会において同時に GP 資機材の認定も実施され、今回より新たに含浸型洗浄布の認定が正式にスタートし、3 社 8 製品の含浸型洗浄布が認定された。さらに洗浄剤では、新たに 2 社が同制度に参加し、3 社 15 製品が認定を受けた。その他、プレートクリーナーが 1 社 1 製品、エッチ液が 2 社 18 製品、セッターが 1 社 2 製品の認定が行われ、計 44 製品が認定された。この結果、同制度に参加しているメーカーは合計 22 社、認定製品は 375 製品となった。

◆ **【T&K TOKA:米ぬか油グラビアインキ開発】**T&K TOKA、米ぬか油由来成分配合のグラビアライ
スインキ開発(12/12:印刷ジャーナル)

<http://www.pjl.co.jp/news/product/2012/12/4594.html>

(株)T&K TOKA(増田至克社長)は、世界初となる米ぬか油由来成分を配合した環境対応グラビア
アライインキ「PIXESS RICE(ピクセスライス)」を開発した。

主に米袋等の処理ポリエチレンフィルム用に設計した表刷りグラビアインキ。インキの主体樹脂
には「地産地消」の考え方にに基づき 100%国産の米ぬか油を使用したライスインキで、このインキ
を使用したエコ印刷物には、ライスインキマークをつけることができる。また、生物由来で枯渇の
心配がなく環境負荷も小さいほか、品質及び安全性も良好であることを認定した環境配慮型商
品の目印であるバイオマークをつけることも可能。

◆ **【胆管がん:厚生労働省新たに 4 人認定】**労災申請、新たに4人 印刷会社の胆管がん(12/11:日本
経済新聞)

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG1101E_R11C12A2CC0000/

印刷会社の元従業員らの胆管がん発症が相次いだ問題で、厚生労働省は 11 日、印刷業に従事
した経験のある4人が新たに労災申請したと明らかにした。申請は計 56 人(うち死亡 35 人)となっ
た。

新たに申請した4人は全員男性で、うち3人は死亡している。年齢は 30 代が1人、60 代2人、70
代1人。30 代男性は、申請が最も多い大阪市の印刷会社「サンヨー・シーワイピー」の従業員。

◆ **【凸版印刷:HEMS 検証本格化】**HEMSデータの有効利用に向け共同検証が本格化(12/11:新
建ハウジング)

<http://www.s-housing.jp/archives/32572>

<http://www.kankyo-business.jp/news/003876.php>

凸版印刷(東京都千代田区)、早稲田環境研究所(東京都新宿区 1)、積水化学工業(東京都港
区)の3社は共同で、HEMSの普及促進と継続利用を促す自立的なシステムモデルの検証事業
を12月中旬から本格化させる。

この事業は、環境省によるHEMS利用の付加価値向上のための調査事業の一環として行うもの。
具体的には、すでにHEMSを設定している世帯から約1000世帯のモニターを募集し、データを
幅広く収集するとともに、20世帯程度について、世帯の属性データと生活行動調査など、電力消
費以外の詳細データも収集。こうしたデータを企業などにマーケティングのためのデータとして提
供し、その売上の一部をポイント還元したり、情報を分析して省エネアドバイスをを行うことで生活
者の自発的な参加を促す。国などの補助がなくても自立的な運営が成り立つシステムの構築を
目指す。

- ◆ **【大日本印刷:事業継続マネジメントシステム規格取得】**大日印、「事業継続」で国際規格取得(12/11:朝日新聞)

<http://www.asahi.com/digital/nikkanko/NKK201212110004.html>

大日本印刷は蕨工場(埼玉県蕨市)、神谷ソリューションセンター(東京都北区)、牛久工場(茨城県牛久市)で製造する製品とサービスについて、事業継続マネジメントシステム(BCMS)の国際規格「BS25999—2:2007」を取得したと10日発表した。審査機関はノルウェーのデッド・ノルスケ・ベリタスで、認証機関は英ユーカス。有効期間は2015年11月6日。ほかの事業所でも認証拡大を進め、平時から災害に備え、災害発生後も適切に事業継続が行えるよう整える。

- ◆ **【凸版印刷:ジェスチャーいいね!】**凸版印刷とサイバーエージェント、O2O プロモーションシステム「ジェスチャーいいね!」提供開始(12/10:MarkeZine)

<http://markezine.jp/article/detail/16897>

凸版印刷とサイバーエージェントは、凸版印刷が開発した新しい O2O プロモーションシステム「ジェスチャーいいね!」の提供を2012年12月中旬より開始する。

「ジェスチャーいいね!」は、ある特定のジェスチャーをすると、Facebook 上のイベントページに“いいね!”ができる O2O プロモーションシステム。イベント参加者がカメラに向かって特定のジェスチャーをするだけで“いいね!”をカウントできる。

- ◆ **【佐々木印刷所:マッチ箱マガジン発売】**仙台の印刷会社が「マッチ箱マガジン」—イラストレーターが温泉地を表現(12/6:仙台経済新聞)

<http://sendai.keizai.biz/headline/1309/>

仙台の印刷会社「佐々木印刷所」(仙台市宮城野区日の出町2、TEL 022-236-1281)が制作した「マッチ箱マガジン」が12月7日、発売される。

「東日本大震災から時間がたち、東北への関心が薄れつつあると感じた」という同社の佐々木英明社長が、新たな土産物を通して東北の魅力を伝え、観光復興に寄与する目的で発案。「仙台クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム(SC3)」の認定プロジェクトとして、仙台のクリエイターと連携しながら開発を進めてきた。

商品は県内の温泉地ごとに、鳴子・秋保・作並・遠刈田・白石の5種類を制作。オリジナルのマッチ箱の中に、観光情報をイラストエッセーで紹介する蛇腹折りのしおりと、各温泉地の系統のこけしをかたどった付せん2種類が入っている。

- ◆ **【PrintNext2014 運営委員会: 合同イベント発表】PrintNext2014、「常識をぶち壊せ!」2014年2月名古屋で開催(12/6: 印刷ジャーナル)**

<http://www.pjl.co.jp/news/event/2012/12/4577.html>

若手印刷関連4団体で組織するPrintNext 2014運営委員会(岸昌洋運営委員長、荒川壮一実行委員長)は12月5日、日本グラフィックサービス工業会会議室で記者会見を開き、業界団体の垣根を超えた横断的の合同イベント「PrintNext 2014」を2014年2月15日、愛知県名古屋市のウインク愛知で開催することを発表した。

イベントテーマは「常識をぶち壊せ!」。「変化と多様化に対応するためには、今までの常識を一掃することが必要である」との観点から、基調講演や各種セミナー、分科会、ワールドカフェといった様々なコンテンツを通じて、新たな常識=価値観と知識、判断力で、これからの「insatsu」の未来を創造しようというものだ。

【PC・プリンタ・ハードウェア】

- ◆ **【小森コーポレーション: デジタル印刷機のためのクリエイティブラウンジ開設】小森コーポレーション、デジタル クリエイティブ ラウンジ開設(12/10: 印刷ジャーナル)**

<http://www.pjl.co.jp/news/product/2012/12/4587.html>

(株)小森コーポレーション(本社/東京都墨田区、小森善治会長兼社長)では、このほど同本社・2階に「digital Creative Lounge(デジタル クリエイティブ ラウンジ)」を開設。12月7日には、報道関係者向けの説明会が開かれ、同ラウンジの概要が公開された。

同ラウンジには、デジタル印刷機「Impremia C70」をはじめインクジェットブルーファアー、カットイングプロッター、ラミネーターなど POD とその周辺機材が常設され、デジタル印刷機におけるさまざまな検証テストなどが行える環境が整備されている。

- ◆ **【エプソン: 商業用インクジェット拡充】エプソン、商業用インクジェット印刷機の品ぞろえ拡充(12/12: 朝日新聞)**

<http://www.asahi.com/digital/nikkanko/NKK201212120011.html>

セイコーエプソンは商業インクジェット印刷機の品ぞろえを強化する。2012年度中に自動車の内装材や家電の外装などに装飾する大型印刷機を発売する。13年度には商品ラベルの高速印刷機を追加する。製品を増やし、現在10億円規模の商業インクジェット印刷機事業の売上高を15年—17年度に100億円に拡大する。

12年度中に発売予定の大型印刷機は加飾印刷機と呼ばれ、曲面部分にも装飾ができる。フィルム幅で1.6メートルまでの装飾に対応予定。同一の樹脂製品に複数のデザインを施せるため、デザインごとに形成品を作らずに済む。

- ◆ **【OKIデータ:医用画像プリンタ欧州市場向け販売】**OKIデータ、医用画像プリンタ4機種を欧州市場向けに販売(12/7:サーチナ)

http://news.searchina.net/jp/disp.cgi?y=2012&d=1207&f=it_1207_014.shtml

沖データ(OKIデータ、平本隆夫社長)は、12月6日、医用画像機器間の世界標準通信規格であるDICOMプロトコルの画像印刷に対応したA4 カラーLEDプリンタ 2機種とA3 カラーLEDプリンタ 2機種の合計 4機種を、欧州市場向けに 11月から販売していることを発表した。

新製品では、DICOMプリントサーバー機能をプリンタに組み込むことで、DICOM3.0 準拠の医用画像機器からDICOMフォーマット画像を直接印刷できるようにした。これまで必要だった外部サーバーなどによるファイル変換処理が不要で、設置・運用・管理がシンプルになり、業務効率化を実現するとともに、サーバー設置のコストも削減できる。

- ◆ **【リコー:A3 ジェルジェットプリンタ発売】**リコー、小型化した A3 対応ジェルジェットプリンター(12/7:価格.com 新製品ニュース)

<http://news.kakaku.com/prdnews/cd=pc/ctcd=0060/id=26978/>

リコーは、A3 対応ジェルジェットプリンターの新モデルとして、「IPSiO(イプシオ)SG 7100」シリーズを発表。12月13日より発売する。

2010年6月に発売した「IPSiO GX e7700」シリーズの後継機種となる製品。従来機と比較して体積を約40%削減しており、SOHOオフィスや小規模店舗など限られたスペースへの設置を可能としている。また、凹凸の少ないシンプルなスクエアデザインで、オフィスに調和するホワイトを基調としたカラーリングを採用している。

- ◆ **【市場調査:世界のタブレット出荷台数】**世界のタブレット出荷台数、2015年にノートPCを上回る【矢野経済研究所 調査】(12/10:MarkeZine)

<http://markezine.jp/article/detail/16899>

矢野経済研究所の調査によると、2012年の世界のハンドセット(フィーチャーフォン+スマートフォン)出荷台数は前年比9.3%増の16億5890万台。内訳はフィーチャーフォン(従来の携帯電話)が前年比8.1%減の9億5890万台に対し、スマートフォンが前年比47.7%増の7億台と予測している。

スマートフォンは、新興国・途上国においても低価格端末を中心に需要が拡大し、2014年にはスマートフォンがフィーチャーフォンの出荷台数を逆転する見通し。

一方、2012年の世界のタブレット出荷台数は1億1180万台を予測。近年はディスプレイサイズが7インチクラスの製品を主流に展開され、2015年には2億3780万台の出荷台数が見込まれる。タブレットは低価格と小型・軽量を武器に市場を拡大させており、2015年にはタブレットがノートブックPCの出荷台数を上回るものと予測している。

【ソフトウェア・Web サービス・ネットワーク】

- ◆ **【PC:セキュリティ警告】Windows と Flash で相次ぎ緊急のセキュリティ脆弱性、遠隔操作の恐れ**
(12/12:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121212/443829/>

日本マイクロソフトは 2012 年 12 月 12 日、Windows などのソフトウェア製品に関する今年最後の月例セキュリティ情報を発表した。7 件のセキュリティ脆弱性のうち、5 件を深刻度が最も高い「緊急」に位置づけており、Microsoft Update などによる早急な更新を呼びかけている。最新版 OS の「Windows 8」「Windows Server 2012」も影響を受ける。

5 件のうち、「Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム」については、更新を適用しないままの Internet Explorer で特別に細工された Web ページを表示すると、攻撃者によってユーザー権限を乗っ取られたうえで、インターネット経由で勝手に操作される可能性がある。Windows の文字表示関連のモジュールやファイル操作コンポーネント、Microsoft Word にも緊急の脆弱性が見つかっている。

また、アドビ システムズは 12 月 11 日に「Adobe Flash Player」に関する脆弱性情報を出した。緊急度は最も高い「クリティカル」とし、最新版への更新を呼びかけている。そのままの状態を使い続けると、システムが強制終了したり、攻撃者によって遠隔制御される恐れがある。脆弱性の影響は、すべての OS (Windows、Mac、Linux、Android) の Flash で、Web ブラウザーの種類 (Internet Explorer、Firefox、Chrome など) にかかわらず発生する。更新方法は利用している OS・Web ブラウザーによって異なり、同社の Web サイトで案内している。

- ◆ **【Android アプリ:セキュリティ警告】悪質アプリの新手口、ダウンロードページに「利用規約」**
(12/12:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121212/443542/>

シマンテックは 2012 年 12 月 11 日、悪質な Android アプリをまともなアプリに見せかける新たな手口について注意を呼びかけた。アプリのダウンロードページの分かりにくい場所に利用規約を用意。そこに、同アプリの挙動を記述することで、「ユーザーは合意した上でインストールした」と言い逃れしようとしている。

同社では、スマートフォンの連絡先を勝手にアップロードするアプリについて、以前から注意を呼びかけている。最近では、「Android.Enesoluty」と同社が名付けた悪質アプリを警告している。

このアプリは、便利アプリやアダルト系アプリ、セキュリティアプリなどに見せかけてインストールさせようとする(図 1)。インストールされると連絡先を読み取り、特定のサーバーへアップロードする。アップロードされた連絡先は、迷惑メールの送信などに悪用されているという。

- ◆ **【Flash セキュリティアップデート】「Adobe Flash Player」最新版アップデートを推奨- 旧バージョンに脆弱性**(12/12:マイナビ)

<http://news.mynavi.jp/news/2012/12/12/167/index.html>

JPCERT コーディネーションセンターは、「Adobe Flash Player」を最新版にアップデートするよう注意喚起している。

注意喚起の対象となっている製品とバージョンは、「Adobe Flash Player 11.5.502.110 およびそれ以前(Internet Explorer 9 以前、Mozilla Firefox など)」、「Adobe Flash Player 11.3.376.12 およびそれ以前(Internet Explorer 10)」、「Adobe Flash Player 11.5.31.2 およびそれ以前(Google Chrome)」。

これらのバージョンには複数の脆弱性があり、第三者が遠隔地より細工をしたコンテンツを開いてしまうと、Flash Player が不正終了させられたり、任意のコードを実行させられたりする可能性がある。

上記の危険を回避するため、各社が提供している対策済みソフトウェアへのアップデートが推奨されている。詳細については Flash Player ダウンロードセンターを参照してほしい。また、自身の PC にインストールされている Flash Player のバージョンは、アドビ システムズの Web ページにアクセスすると表示される。

◆ **【警察庁:遠隔操作ウイルス捜査に報奨金】警察庁、「遠隔操作ウイルス」捜査の情報提供に最大 300 万円の報奨金(12/12:ITPro)**

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121212/443701/>

警察庁は 2012 年 12 月 12 日、「遠隔操作ウイルスによる連続威力業務妨害等事件」を対象に、被疑者の検挙や事件の解決に結びつく情報提供の募集を始めた。情報提供者には、300 万円を上限とする報奨金を支払う。募集期間は同日から 2013 年 12 月 11 日までの 1 年間。情報提供は警視庁・神奈川県警・三重県警・大阪府警合同捜査本部が、電話や電子メールで受け付ける(連絡先は末記の Web サイトを参照)。

◆ **【アドビ:Creative Cloud アップデート】アドビ、Photoshop の新機能を含む Creative Cloud の最新アップデートを発表(12/12:MdN)**

<http://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/27001/?rm=1>

アドビシステムズ株式会社は、「Adobe Creative Suite」の全てのデスクトップアプリケーションなどを利用できるメンバーシップ制サービス「Adobe Creative Cloud」のアップデートを発表した。既存のメンバー向けに既に提供が開始されている。

今回のアップデートでは、「Photoshop CS6」および「Illustrator CS6」で、HiDPI/Retina ディスプレイがサポートされた。このアップデートは、「Creative Cloud」だけでなく、パッケージ版およびライセンス版でそれぞれのアプリケーションを利用中のユーザーにも提供される。また、「Creative Cloud」の「Photoshop CS6」では、ぼかしギャラリーとゆがみフィルターのスマートオブジェクトへの対応/CSS コードのテキストやオブジェクトへの書き出し/Web サイトデザインのためのカラーズウォッチ読み込み/切り抜きツールの改良による高速化/3D 機能の強化/条件付きアクションといった新機能が追加されている。

- ◆ **【マイクロソフト:Office2013 予約開始】**「Office 2013」の予約開始、DVD を同梱せず Web からインストール(12/10:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121210/443001/>

日本マイクロソフトは 2012 年 12 月 7 日、次期オフィスソフト「Office 2013」のパッケージ予約を開始した。箱の中にインストール用 DVD を同梱せずに、プロダクトキーのみを封入。実際のプログラムは、インターネット経由でインストールする方式を採用する。現時点で発売日は公表しておらず、2013 年第 1 四半期(1 月～3 月)としている。

- ◆ **【富士フイルム:フォトブック iOS 用アプリリリース】**富士フイルム、iPhone/iPad アプリ「フォトブック 簡単作成タイプ」をリリース(12/11:MdN)

<http://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/26963/?rm=1>

富士フイルム株式会社は、iOS 4.3 以降に対応するフォトブック作成アプリ「フォトブック 簡単作成タイプ」をリリースし、App Store での配信を開始した。推奨端末は iPhone4S 以降/iPad mini/iPad 2 以降で、価格は無料となっている。

本アプリでは、iPhone や iPad 内に保存されている画像の中からフォトブックにしたいものを選ぶことで、時系列やシーンに応じて画像がグループ分けされ、最適な形での自動レイアウトを実現することが可能。この処理には、同社独自の画像解析技術を活用したソフト「イメージオーガナイザー」が用いられている。レイアウト変更や文字の入力など、ユーザー側での追加編集にも対応。編集したフォトブックは、そのまま iPhone/iPad からフジフイルムネットプリントサービスに注文することができる。注文できるフォトブックはソフトカバータイプとなっており、製品仕様は 127 × 127mm/オンデマンド印刷出力/無線綴じ/並製本で、ページ数は 32/24/16 ページの 3 種類。

- ◆ **【デジタルベリー:HTML5 デジタルカタログ閲覧環境拡張】**Windows8 に早くも対応。Web 標準化する「HTML5」を採用するデジタルベリー、「HTML5 デジタルカタログ」の閲覧環境に Windows8 を追加リリース。(12/12:ZDNet)

<http://japan.zdnet.com/release/30032968/>

ホームページ上で閲覧するデジタルカタログの制作代行を行う株式会社デジタルベリー(所在地:埼玉県さいたま市、代表取締役 赤羽根 康男)では、800 社への導入実績を持つデジタルカタログ制作サービスについて、Web 標準化しつつある WEB サイト記述言語「HTML5」を採用した「HTML5 デジタルカタログ」の閲覧環境を拡大しました。Windows8 のモダン UI、デスクトップのどちらでも閲覧可能に機能追加し、12 月 12 日(水)より Windows8(IE10)対応としてリリースします。「HTML5 デジタルカタログ」とは、企業のパンフレットや商品カタログ、マニュアルレポートなどの印刷物データをデジタル変換し、Web 上でページをめくりながら閲覧できる Web コンテンツです。デジタルベリーが制作する「HTML5 デジタルカタログ」は、高速起動で、初心者でも簡単に操作でき、とても見やすいと高評価を得ています。

- ◆ **【ディディアイディ: AR 作成配信サービス】**モバイル向け AR(拡張現実)を簡単に作れる「CARKCHO」(カクチョ)のサービス提供開始(12/10:SankeiBiz)

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121210/pr1212101808050-n1.htm>

株式会社ディディアイディ(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:齋藤 雄一、以下 ddid)は、スマートフォンやタブレット向けの AR(拡張現実)を、誰もが簡単に作成することができる ARコンテンツ配信サービス「CARKCHO」(呼称:カクチョ) <http://www.carkcho.com> を2012年12月10日より世界に向けてリリース致します。(日本語版・英語版)

- ◆ **【市場調査:セキュリティ対策】**スマホの安全対策、「パスワード」や「アクセス許可の確認」は3割未満(12/12:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121212/443545/>

情報処理推進機構(IPA)は2012年12月11日、インターネットユーザーを対象に実施した、情報セキュリティに関する意識調査の結果を発表した。それによると、スマートフォンでセキュリティ対策を実施しているユーザーはそれほど多くないという。

調査は Web 上で実施。対象は15歳以上の一般ユーザー。有効回答数は5000。調査日は2012年10月12日から10月15日。一般ユーザーのセキュリティ意識や対策状況を把握し、IPAが実施する対策情報の発信や啓発活動などに役立てることが目的。2005年以降、毎年1回あるいは2回実施され、今回で11回目となる。

パソコンにおけるセキュリティ対策の実施状況に関する質問では、「Windows Update 等によるセキュリティパッチの更新」を実施しているユーザーは61.3%、「セキュリティソフトの導入・活用」を行っているユーザーは70.2%だった(図1)。前回(2011年10月)および前々回(2010年10月)の調査結果と比較すると、いずれも割合は小さくなった。

- ◆ **【市場調査:デバイス別インターネット利用時間】**Android スマホ利用者のネット利用時間がPCを上回る、セッション数はPCの3.5倍【ニールセン調査】(12/11:MarkeZine)

<http://markezine.jp/article/detail/16905>

ニールセンは、スマートフォンの利用動向を計測し、レポートする新サービス「Mobile NetView」のパイロットデータを発表。2012年9月のAndroidスマートフォン利用者の月間一人あたりのインターネット利用時間は1,492分で、PC利用者の1,301時間を190分上回った。

- ◆ **【Google: Google 翻訳が日中韓文字対応】**スマホで撮るだけ自動翻訳、Google 翻訳が日中韓の文字に対応(12/11:Excite ニュース)

http://www.excite.co.jp/News/it_column/20121212/Bizmash_bm_37277.html

米 Google の Android 向け翻訳アプリケーション「Google 翻訳」が刷新し、スマートフォンで撮影した日本語、中国語、韓国語の文章を自動翻訳できるようになった。同社のアプリ配信サービス「Google Play」から無料でダウンロードし、Android 2.3以降のOSで利用できる。

カメラで撮影した文章を読み取って翻訳する機能はすでに英語などで使えたが、新たに利用できるアジア圏の言語が増えた。

(中略)操作方法は、アプリを起動してからカメラ型のアイコンをタップし、文章を撮影した後、翻訳したい範囲を指でなぞってハイライト表示する。韓国語や中国語の看板、ラベルなどを手軽に日本語にできるのはもちろん、手元の日本語の印刷文書を簡単に英訳できるというのも場合によっては役立つ。今回の更新では横書きの文章のみに対応するが、将来的には縦書きにも対応予定だ。

- ◆ **【アンテナハウス:PDF 統合ソフト発売】アンテナハウス、PDF を網羅する「瞬簡 PDF 統合版 6」を発売(12/10:マイナビ)**

<http://news.mynavi.jp/news/2012/12/10/150/index.html>

アンテナハウスは、同社の PDF 製品「瞬簡 PDF」シリーズ 5 製品が同梱される PDF 統合ソフト「瞬簡 PDF 統合版 6」を 12 月下旬より発売する。価格は 19,740 円、ダウンロード版は価格 15,540 円で同社 Web サイトで先行販売している。企業や教育機関、官公庁向けのライセンス販売にも対応している。OS は、Windows XP(Home Edition SP3/ Professional SP3) / Vista / 7 / 8、32/64 ビットに対応。

- ◆ **【ウイングアーク:印刷イメージをモバイル端末で利用可能なソフト】ウイングアーク、印刷帳票を Android で閲覧/手書き加工するソフトを出荷(12/11:ITPro)**

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121211/443444/?ST=system>

ウイングアークは 2012 年 12 月 11 日、出力済み帳票の印刷イメージを Android タブレットで閲覧したり、印刷前に手書きでサインを追記したりできるようにするソフト「Tablet Paper for RDE」(写真)を発表、同日出荷を開始した。同社の印刷スプール管理ソフト「Report Director Enterprise」(RDE)と組み合わせて利用する。

プリンターに渡される前の印刷イメージを、モバイル端末で活用できるようにした。これにより、通常の紙印刷に加えて、Android タブレットで帳票を閲覧できるようになる。また、印刷前の帳票イメージに対して、Android タブレットを使って署名などを手書き加工し、これを印刷することができる。出力帳票を印刷前に集約/格納するスプールサーバーソフトの RDE が必要になる。Tablet Paper for RDE は、スプールされている印刷イメージの管理(印刷指示など)といった RDE のクライアント機能を一通り提供し、この上で、印刷イメージの閲覧/加工機能を追加で提供する。

- ◆ **【市場調査:国内通販市場(デジタルコンテンツ含む)】国内通販市場の調査結果発表～2012 年は前年度比 8.0%増見込み(12/10:MarkeZine)**

<http://markezine.jp/article/detail/16898>

富士経済は、2012 年 9～11 月にかけて通信販売国内市場の調査を行い、その結果を「通販・e コマースビジネスの実態と今後 2012—2013 市場編」にて発表した。

物販市場とサービス・デジタルコンテンツ市場を合わせた 2012 年の通販市場は、前年度比 8.0% 増の 7 兆 5,269 億円が見込まれる。震災の影響で 2011 年に苦戦した企業の実績回復が見られるほか、通販市場に新規参入する企業の増加、スマートフォン経由での利用増加が市場拡大を後押しする。

(中略)2011年のサービス・デジタルコンテンツ市場は、前年比13.1%増の1兆1,405億円となった。参入各社がスマートフォン向けサービスを強化している中、拡大が続いているゲーム配信に加え、音楽関連のチケット販売や電子書籍配信も好調だった。

◆ **【JASRAC:個人ブログでの歌詞掲載利用許諾条件公開】JASRAC、個人ブログ等における歌詞掲載利用の許諾条件を公開(12/12:MarkeZine)**

<http://markezine.jp/article/detail/16916>

個人ブログなどでJASRAC管理楽曲の歌詞を掲載することについて、これまでJASRACはブログ等のユーザーを対象に利用を許諾する一方、無許諾の歌詞掲載についてはプロバイダ責任制限法に基づきサービス運営事業者に対し送信防止措置を執ってきた。

しかし、ユーザーやサービス運営事業者からは、ユーザーにとって使いやすい環境の構築を望む声があがっており、JASRACは音楽の利用拡大の方針のもとに新たな枠組を構築する必要があると判断。今回、ブログユーザー等がJASRAC管理楽曲の歌詞を掲載利用できるよう、ユーザーに代わってサービス運営事業者に許諾する際の条件を定め、これを公開した。

◆ **【ソニー:写真の一部が動く作品を作れる Android アプリ】ソニー、写真の一部が動く作品を作れる Android アプリ(12/12:デジカメ Watch)**

http://dc.watch.impress.co.jp/docs/news/20121212_578437.html

<http://www.sonydna.com/sdna/products/motiongraph/index.html>

ソニーデジタルネットワークアプリケーションズは、Androidアプリ「motiongraph」を12日に公開した。価格は104円。Android 2.3以上に対応する。

静止画のように見える写真の一部が動画のように動く作品を作成できるアプリ。2秒程度の動画を撮影し、動かす部分と動かさな部分を決めるという簡単な操作で作成できる。

◆ **【ゼンリンデータコム(大日本印刷と業務提携):デジタルサイネージ事業会社設立】ゼンリンデータコム、デジタルサイネージ事業会社「Will Smart」を設立(12/12:マイナビ)**

<http://news.mynavi.jp/news/2012/12/12/152/index.html>

ゼンリンデータコムは、12月12日付で、デジタルサイネージ事業会社「株式会社 Will Smart」を設立したと発表した。

ゼンリンデータコムはこれまで、2012年7月の東京モノレール羽田空港国際線ビル駅での実証実験を皮切りに、大日本印刷との業務提携など、デジタルサイネージを活用したソリューションサービス事業の推進を行ってきた。

同社では、デジタルサイネージの市場は、スマートフォンに代表されるタッチパネル式ディスプレイの普及、アンドロイドなどの普及OSの登場など、これまでの広告表示を中心とした目的のみならず、多様な用途での展開がはじまっており、今後もさらに急速なスピードで多方面に発展していくと考え、このような市場環境をふまえ、デジタルサイネージを活用したソリューション事業のさらなる発展を目指すべく、新たに事業会社を設立したという。

【出版・電子書籍】

- ◆ **【モリサワ:MCComic 発売】**モリサワ、ビジネス向け電子コミックソリューション「MCComic」を発売
(12/11:Excite ニュース)

http://www.excite.co.jp/News/it_g/20121211/Mdn_26965.html

株式会社モリサワは、法人向けの電子コミックソリューション「MCComic」の販売を開始した。Windows 7(SP1)/Vista(SP2)/XP(SP3)に対応するオーサリングツール「MCComic Maker」と、iOS/Android に対応して電子書籍ストアアプリなどへの組み込み用として提供される「MCComic ビューアライブラリ」で構成されるソリューション。使用料は 1 ライセンス(1 台の PC にインストール)につき年間 12 万 6000 円で、契約期間中に機能の追加やバージョンアップがあった場合には、無償で契約ユーザーに提供される。

「MCComic Maker」では、TIFF/BMP/JPEG/PNG/PDF/EPUB ファイルをフォルダごと選び、綴じ方向/画像サイズ/シート設定などの指定を行うことで、一括して EPUB3/EPUBXF(同社独自の DRM 化済み EPUB3 ファイル)データへの変換が可能。誌面データに動画/音声ファイルや URL などのリンク情報を埋め込むこともできる。変換後の EPUB3 データは電書協 EPUB Ver.1.1 書き出しに対応しており、一般的な EPUB ビューアを搭載した電子書店での流通/販売が可能。

- ◆ **【ACCESS:EPUB 制作支援ソリューション提供開始】**ACCESS、EPUB 対応の電子書籍コンテンツ制作支援ソリューション(12/12:マイナビ)

<http://news.mynavi.jp/news/2012/12/12/038/>

ACCESS は 12 月 11 日、EPUB 対応の電子書籍コンテンツ(ノベルおよびコミック)の制作を容易にする「EPUB 制作支援ソリューション」の提供を開始すると発表した。

出版社やコンテンツ制作会社は変換元のマスタファイルを管理し、「EPUB コンバータ」のパラメータを設定するだけで、EPUB ファイルを簡単に出力することができるという。

本ソリューション使用により「HTML タグをベースとした記述言語で制作された活字コンテンツを EPUB 仕様に交換」、「JPEG 等で制作されたコミック画像コンテンツを EPUB 固定レイアウト形式に変換」、「将来的な EPUB 仕様の拡張を考慮し、バージョン(仕様)の異なる EPUB コンテンツ間の交換に対応し、コンテンツの再利用性を確保」を実現する。

また、制作支援ツールとして、「EPUB コンバータ」および EPUB コンテンツを確認するためのビューワー「NetFront BookReader EPUB Edition(Android 版)」、「EPUB 電子書籍制作サポートサービス(オプション)」も用意。

- ◆ **【エヴァンジェ:バイラルブレインパートナーズと Amazon プリントオンデマンド自費出版制作業務で提携】**Amazon プリントオンデマンド自費出版の制作業務で提携 (12/11: Japanese Internet.com)

<http://japan.internet.com/release/257916.html>

<http://goodtime-p.com/>

株式会社エヴァンジェ(本社:東京都港区、代表取締役:望月洋志)は、この度、グットタイム出版を運営するバイラルブレインパートナーズ株式会社と、Amazon プリントオンデマンドを活用した自費出版サービスに係る制作業務において、12月1日より包括的業務提携を行った事をご報告させていただきます。

- ◆ **【BookLive:電子書籍端末発売】**BookLive、電子ペーパーの専用電子書籍端末「Lideo」発売 (12/10:PCOnline)

<http://pc.nikkeibp.co.jp/article/news/20121210/1073483/>

BookLive は 2012 年 12 月 10 日、6 型モノクロ電子ペーパーを搭載した電子書籍端末「BookLive!Reader Lideo」を三省堂書店各店舗や電子書籍ストア「BookLive!」で発売した。価格は 8480 円。約 9 万 5000 冊の電子書籍を購入でき、「電子ペーパー搭載の電子書籍端末としては最多」という。

凸版印刷グループの電子書籍ストア運営会社である BookLive、三省堂書店、NEC、UQ コミュニケーションズが 11 月に発表した自社サービスの専用電子書籍端末。無線 LAN に加えて WiMAX 通信機能を内蔵して、書籍を簡単にダウンロード購入できるのが特徴。通信料を別途支払う必要はない。

- ◆ **【BookLive:国内初電子書籍用プリペイドカード】**BookLive、専用端末でも使える国内初の電子書籍専用プリペイドカード(12/10:サーチナ)

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2012&d=1210&f=it_1210_022.shtml

BookLive(淡野正社長)は、電子書籍専用端末「Lideo(リディオ)」と電子書籍ストア「BookLive!」で利用できる「BookLive!プリペイドカード」を 12 月 10 日に発売した。まず、三省堂書店(亀井忠雄社長)の神保町本店などで販売し、全国 30 店舗に拡大していく。

「BookLive!プリペイドカード」は、クレジットカードを持たない若年層やクレジットカード情報の入りに抵抗があるユーザーが、スムーズに電子書籍を購入できる電子書籍専用プリペイドカード。カードには、凸版印刷(金子真吾社長)と富士通エフ・アイ・ピー(富士通FIP、浜野一典社長)が共同で展開する「ギフトカードASPサービス」を採用した。

- ◆ **【The Times:電子購読向けに Nexus7 大幅値引き提供】**The Times、電子購読向けに購入補助金付き Nexus 7 を提供(12/12:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1212/12/news083.html>

The Times は The Times と The Sunday Times ニュースアプリ向けの電子購読プランを推進するため、Nexus 7 を大幅に値引きして提供する手段に出た。32G バイトの Nexus 7 をわずか 50 ポンドで提供しており、Google の英国での販売価格 199 ポンドと比較して 149 ポンドも安い。

このプランでは、1週間当たり4.5ポンド以下、あるいは1カ月当たり18ポンド以下を支払う18カ月のニュース購読に同意する必要があるが、それほど長期での契約が気に入らない人は299ポンドを支払うことで、新品のNexus 7を入手し2つのニュースアプリに18カ月間フルアクセスすることもできる。

The Times は英国で受賞歴のあるジャーナリズムの一流の経験と引き換えに消費者に金を支払うよう求める唯一の新聞だ。Nexus 7 の契約はパッケージの旨みを増し、The Times や The Sunday Times の購読者にとって恩恵になるはずだ。そのほかの人にとっても、The Times とうまくつきあえるのは悪くない話だろう。

- ◆ **【実証実験レポート:電子教科書_大阪府立大学とシャープ】「電子教科書」出版社は複雑な思い重たい医学書から解放！学生は歓迎の声(12/9:SankeiBiz)**

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121209/bsj1212091903003-n1.htm>

電子書籍の普及が進む中、大阪府立大学(本部・堺市中区)で、教科書の電子書籍化に向けた実証実験が進められている。

今年6月から一部の学生を対象に、電子化した教科書を収めたタブレット端末を配布。デジタルならではの検索機能に加え、教科書の重さから解放されることが、学生にとって最大のメリットだ。一方で出版社の側には、電子化による教科書の“価格破壊”への懸念も広がる。これに対し、タブレットを提供し二人三脚でプロジェクトを進めるシャープは、府立大での実験成果を踏まえて全国の大学に普及させたい考えだ。

- ◆ **【仙台市民とミシマ社(出版社):仙台をテーマに本を作るプロジェクト】仙台の歳時記を市民が執筆 東京の出版社・生活者視点で紹介(12/8:河北新報)**

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/12/20121208t15038.htm>

東京の出版社ミシマ社と仙台市民が共同で「仙台」をテーマにした本を作るプロジェクトが動き始めた。11月中旬、本の出版について話し合う市民参加型の企画会議「寺子屋ミシマ社in仙台」が仙台市内であり、生活者の視点で仙台の季節の行事などを紹介する内容を決めた。来年11月の刊行を目指す。

「寺子屋」には市民ら26人が参加。ミシマ社社長の三島邦弘さん(37)と仙台の書店員佐藤純子さん(34)を中心にアイデアを出し合った。

本の仮題は「THE 仙台 BOOK」。1週間ごとに市民一人の目を通して、仙台のイベントやお気に入りの場所を取り上げる。季節感あふれる仙台の歳時記にする予定だ。寺子屋の参加者を中心とする市民が今後1年間、手分けして取材し、執筆する。

- ◆ **【インタビュー】**キンドルは「1冊 99円」が面白い(12/10:東洋経済オンライン)

<http://toyokeizai.net/articles/-/12049>

ここ数年、「電子書籍元年」と言われ続けて久しい。今年は「キンドル・ペーパーホワイト」(アマゾンジャパン)がついに上陸。「コボタッチ」(楽天)など相次いで新しい電子書籍専用端末が登場した。だが、コンテンツ数の不足、規格の乱立などで普及には課題も少なくない。

キンドル上陸で本と電子書籍の未来はどうなるのか。書評サイト「HONZ」(<http://honz.jp/>)を主催、『ノンフィクションはこれを読め!』(中央公論新社)などの著書もある、元マイクロソフト日本法人社長でインスパイアの取締役ファウンダーである成毛眞氏が展望を語る。

- ◆ **【コラム】**「キンドル元年」広がる商機 過去の名作、魅力を再認識(12/7:日本経済新聞)

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGF30005_T01C12A2H1EA00/

電子書籍端末「キンドル」がようやく日本で発売された。楽天の「コボ」などとの競争が本格化する。出版社側も品ぞろえの拡充に力を入れ始め、来年は日本でも電子書籍市場が成長モードに突入しそうだ。そんな中で興味深い兆しがある。沢木耕太郎氏の「深夜特急」がアマゾンのキンドルストアで売れ筋上位にランクインしているのだ。

この本は約30年前に出版された。普通の書店で売れ筋上位に入っているわけではない。電子書籍特有の現象のようだ。過去の作品という意味では最近、山下達郎やユーミンなど長い間活躍しているアーティストのベストアルバムも売れている。そのおかげで音楽ソフト市場も14年ぶりに拡大する見通しだ。

- ◆ **【BOOK☆WALKER:EPUB3に全面対応】**BOOK☆WALKERがEPUB3に全面対応 アプリを刷新、PC向けビューワも提供へ(12/6:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1212/06/news112.html>

ブックウォーカーは、同社の電子書籍サービス「BOOK☆WALKER」をEPUB3に全面対応させた。既に販売中のタイトルも含め、全電子書籍をEPUB3化。これに伴いスマホアプリも刷新したほか、PC向けビューワソフトも近日中に提供する。

- ◆ **【パプー:Kindleストア連携に伴い一部有料化】**パプー、Kindleストアとの連携開始に伴いサービスの一部を有料化(12/6:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1212/06/news126.html>

個人出版サービス「パプー」がサービスの一部を月額525円の「プロ版」として有料化。ほかの電子書店に作品を配信できる「外部ストア連携機能」は新たにKindleストアとの連携が発表されたが、プロ版でのみ利用可能となる。

- ◆ **【JTBパブリッシング:るるぶ新刊、今後は原則電子書籍化】**るるぶの新刊、原則すべて電子書籍で購入可能に(12/6:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1212/06/news023.html>

JTBパブリッシングが、「るるぶ」に代表される同社の旅行レジャーブックを今後は原則電子化すると発表。主要電子書店に加え、同社のスマホ向け専用アプリでも販売する。

◆ **【コラム】沖縄の文化を電子書籍で発信したい——「沖縄 eBooks」(12/11:MdN)**

<http://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/26959/?rm=1>

日本のなかでも独特の文化と歴史をもつ沖縄県では、大小さまざまな 50 以上の出版社がフリーペーパー、タウン誌、情報誌、観光ガイド、実用書、教育書など、地域の文化や情勢に根ざした出版物を発行し、独自の出版文化を形成している。

それらの「沖縄県産本」は、沖縄県内では流通しているが、本土の書店の棚にも並ぶものは決して多くない。本土から沖縄へは毎年 500 万人以上の観光客が訪れているにもかかわらず、観光客のほとんどは本土の出版社などが発行するガイドブックや旅行雑誌などを参考にすることはあっても、本土で流通していない沖縄県産本を見る機会はきわめて少なかった。

だが、電子出版という新しいビジネスモデルへの関心が高まるなか、沖縄地域で発行されている書籍や雑誌などを集めて電子書籍化して発信するポータルサイト「沖縄 eBooks」(<http://www.okinawa-ebook.com/>)が 2011 年 5 月に正式オープン(同年 1 月にプレオープン)。沖縄の出版文化を県外に発信する取り組みとして、県内のメディアだけでなく、IT 関連の情報を紹介するニュースサイトなどでも取り上げられ、注目を集めた。

◆ **【コラム】紙を捨てきれないデジタル出版に“サブコンパクト”のすすめ(12/6:マイナビ)**

<http://news.mynavi.jp/column/svalley/492/>

昨年 2 月に初の iPad 専用日刊紙として登場した News Corp.の「The Daily」が 2 年弱で廃刊になる。定期購読者の増加ペースが期待に遠く及ばなかったためだ。

創刊時には、定期購読型アプリの普及に乗り出した Apple の全面的なサポートを受けた。当時の欧米における iPad の爆発的な成長を考えると、iPad 専用(現在は Android および Kindle もサポート)であったのが足かせになったとは考えにくい。中身が伴わなかったわけでもない。質の高い記事を作るスタッフを揃え、タブレットの機能を活かしたメディアリッチなコンテンツを提供してきた。ポスト PC 時代のニュースメディアの黎明期に、タブレット向け新聞・雑誌の姿を示したと言える。ところが、iPad ユーザーの多くは The Daily に魅力を感じなかった。

◆ **【コラム】凸版印刷はキンドルに勝てるのか(12/10:東洋経済オンライン)**

<http://toyokeizai.net/articles/-/12053>

「キンドル」「コボ」「リーダー」「ガラパゴス」——。アマゾン、楽天、ソニー、シャープといった名だたる企業が展開する電子書籍端末市場に、また新鋭が登場した。

凸版印刷グループで電子書店「BookLive!」を運営するブックライブ(本社・東京都台東区)は 12 月 10 日、電子書籍専用端末「BookLive! Reader Lidio(リディオ)」を発売した。パソコンでのセットアップや会員登録、通信設定の必要がなく使える手軽さが主な特徴で、全国約 30 店の三省堂書店や直販サイト「リディオストア」などを通じて販売する。

- ◆ **【インタビュー】あなたがプロなら電子出版で自分を高めよう～24 時間で自著を全世界に向けて出版できる時代に(12/13: 日経ビジネス)**

http://business.nikkeibp.co.jp/article/tech/20121210/240825/?top_updt

(中略)物事の本質を問い続ける峯本氏が「凄い」というなら電子出版に何かがあるのかもしれない。それなら何が凄いのか教えて貰おうと聞いてみた。峯本氏とメールでやり取りした内容を以下に記載する。「峯」が峯本氏、「谷」が筆者である。

【その他・地域】

- ◆ **【田中紙工: 忘年会で遊べるトランプ発売】田中紙工が忘年会向けトランプ 言いにくいこと、無礼講で(12/13: 日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO49482000S2A211C1L21000/>

幹事さん、忘年会を盛り上げます——。紙加工の田中紙工(東京・板橋)は会社の忘年会で遊べるトランプ=写真=を発売した。数字面に上司や同僚に聞きにくい質問などが書かれ、参加者がカードを1枚引いて質問に答える。もう一方の面には会社の名前や好きなイラストを印刷できる。計 54 枚のカードには「いつも言おうと思っているけどなかなか言えないことは?」、「初恋の思い出を語って下さい」など質問や指示が書かれ、カードを引いた参加者がそれに答えたりする。価格は1セット 2980 円。田中紙工のトランプ販売専門サイトで販売する。

- ◆ **【市場調査: 用紙在庫状況】産業素材や燃料、在庫過剰に一服感(12/13: 日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/paper/article/?ng=DGKDZO49492460S2A211C1QM8000>

産業素材や燃料の在庫過剰に一服感が出た。日本経済新聞社がまとめた 10 月末の主要 15 品目の在庫は石油化学製品など8品目が前月末に比べ減少。増加品目は3品目にとどまった。住宅エコポイント制度終了前の駆け込みで住宅用建材の需要が増えたことや合成樹脂など一部の品目は減産効果が表れた。ただ、内需全体に力強さはなく、在庫調整が進むかは不透明だ。

(中略)印刷用紙や段ボール原紙の 10 月末の在庫は前月末とほぼ同水準で在庫過剰感が解消されなかった。印刷用紙は長引く景気低迷を背景に年末のチラシやカレンダーなどの需要が振るわない。

製紙会社は減産を一段と進める。日本製紙グループ本社は今年9月から来年3月まで紙・板紙の生産を当初計画比7%減らす方針だ。

- ◆ **【国立情報研究所:写真写りこみによるプライバシー侵害防止技術発表】**NII、写真の写り込みによるプライバシー侵害を防止する技術(12/13:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121213/443942/>

国立情報学研究所(NII)は2012年12月12日、他人のカメラに偶然写り込んでしまうことによるプライバシー侵害を防ぐための技術を発表した。「プライバシーバイザー」と呼ぶゴーグルを顔面に装着。これで、顔写真を撮影された場合に画像にノイズを発生させられる。顔画像の解析技術などを用いて自らの顔を特定・検索されることを防止できるという。

プライバシーバイザーは、市販のゴーグルに、人の目には見えない近赤外線を照射するLEDを11個取り付けられたもの。LEDは、目の周辺に8個、鼻筋の周辺に3個配置されている。これを装着した人をカメラで撮影すると、画像には目や鼻の周辺にノイズが発生する。顔認識ソフトや類似画像検索エンジンでこうした画像を解析しても、顔を顔として認識できない。10人の被験者を対象に、カメラとの距離や角度をさまざまに変えて検証したところ、顔を検出できたケースはなかったという。

- ◆ **【ラクスル:ワンコイン名刺販売開始】**両面フルカラー100枚で500円『ワンコイン名刺』の販売開始～誰もがラクに発注できる、ラクスルショップ～(12/12:SankeiBiz)

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121212/pr1212121738073-n1.htm>

ラクスル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松本 恭攝、以下「ラクスル」)が運営するラクスルショップ(<http://raksul.com/shop/>)は、12月11日(火)より、両面フルカラー100枚で500円『ワンコイン名刺』の販売を開始いたしました。

- ◆ **【インタビュー】【Next Stage】ラクスル・松本恭攝社長**(12/12:SankeiBiz)

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121212/bs1212120502003-n1.htm>

印刷関係に特化した情報提供ウェブサイトを構築し、インターネット経由の印刷発注サービス事業を展開するラクスル。今年は2回に分けて計2億3000万円の第三者割当増資を行い、オンラインショップを立ち上げるなど事業の拡充を急ピッチで進めている。松本恭攝社長に、経営戦略について聞いた。

- ◆ **【フォーピース:声の年賀状サービス】**ラムちゃんの声で年賀状が届く! ウェブ年賀状サービス「声の年賀状」(12/13:InternetWatch)

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20121213_578491.html

<http://www.giftvoice.jp/nenga>

株式会社フォーピースは12月12日、ウェブ年賀状サービス「声の年賀状」の提供を開始すると発表した。人気声優の平野文さんと関俊彦さん、ナレーターの茂木淳一さんがオリジナルで録音した音声をmixi、Facebook、Twitterなどの友人知人にプレゼントできる。価格は、何通贈っても2480円。

「声の年賀状」は10月にスタートした音声メッセージギフトサービス「GiftVoice」で、年賀状に特化したサービスとして提供するもの。「GiftVoice」では音声合成システムなどを使わず、声優やナレーターに自分の名前などを入れたオリジナルメッセージを読んでもらい、Facebookやmixi、

Twitterなどのソーシャルメディアやメールで贈ることができる。「声の年賀状」はウェブページのデザインなどを年賀状向けに特化し、「世界にひとつだけの新年の挨拶メッセージ」が贈れるのが売りだ。

- ◆ **【第一印刷所:年賀状やカレンダーで芸妓動画】**スマホかざすと芸妓の動画 賀状やカレンダー (12/13:朝日新聞)

http://digital.asahi.com/area/niigata/articles/TKY201212120655.html?ref=comkiji_redirect

新潟・古町芸妓(げいぎ)を動画で楽しんで――。新潟市の印刷会社が、芸妓のマークにスマートフォンのカメラを向けると、芸妓の動画が見られる年賀状やカレンダーをつくった。「地域の活性化に役立てたい」という思いが込められている。

カメラに映っている現実の風景だけでなく、その風景に関連する情報を表示する「AR」(拡張現実)と呼ばれる技術を使った。専用のアプリ(応用ソフト)をダウンロードし、商品のマークにカメラを向けると、お座敷で舞う古町芸妓の約3分間の動画を無料で見ることができる。

新潟市の印刷会社「第一印刷所」が製作。座敷に行かないと見られなかったり、写真でしか見る機会がなかったりする芸妓を動画で見てもらおうと、市内のNPO法人に古町での撮影と編集を依頼した。

- ◆ **【ジュピターテレコム:タブレット端末無料貸し出しによるユーザ向け暮らしサポートサービストライアル開始】**J:COM がタブレット端末を活用した暮らしサポートサービスのトライアル開始(12/12:ITPro)

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121212/443803/>

ジュピターテレコム(J:COM)は2012年12月12日、東京都世田谷区・狛江市および大阪市の一部に居住するJ:COMユーザー約500世帯を対象として、暮らしのサポートサービス「J:COMくらしのナビゲーション」のトライアルを開始すると発表した。

このトライアルでは、タブレット端末(Sony TabletのSシリーズ、9.4インチ)を無料で貸し出す。タブレット端末上で買い物や家事代行、ニュース閲覧、地域情報、健康サポートなどのアプリケーションを利用してもらう(図1、図2)。商品やコンテンツの購入代金、サービスの提供者が提供する有料サービスについては、利用に応じて料金が必要となる。

- ◆ **【今野印刷:被災者に「元気だ状」販売】年賀状ならぬ「元気だ状」復興道半ば(12/13:朝日新聞)**

http://digital.asahi.com/area/miyagi/articles/TKY201212120643.html?ref=comkiji_redirect

東日本大震災から2度目の正月を前に、年賀状ならぬ「元気だ状」が今年も販売されている。身近な人たちや支援者、被災者に新年のあいさつをしたいけれど、まだ素直に「おめでとう」とは言いづらい。そんな人たち向けのはがきだ。

仙台市若林区の「今野印刷」と大阪市西区の「にっこう社」が東北、関西の学生と連携して、昨年からはり始めた。収益を被災者向けの割引に充てている。

「ありがとう。元気にしています」「おだやかな一年になりますように」。51種類の「元気だ状」には、明るい未来や感謝の気持ちを表す言葉が刷られている。岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」をモチーフにしたデザインもある。余白に自由に書き込める。

- ◆ **【佐川印刷:eco 活「エコかるた」】「エコかるた」も自作した愛媛の印刷会社の楽しい「eco 活」(12/12:オルタナ)**

<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20121212-00000301-alterna-soci>

佐川印刷(愛媛・松山)は、地域社会や環境と共存する企業市民として社員一人ひとりが地球のためにできることを考え取り組む「eco 活」を始めている。

毎年夏に本社と多くの機械が稼働する工場の外側に「緑のカーテン」をゴーヤで作っている。これによって建築物の温度上昇抑制を図り、冷房の稼働時間を減らすと同時に、植物の光合成によってCO2を吸収させ、熟れたゴーヤは収穫後に社員の希望者に配布されて食材にしている。

また、早朝に約560mの「まつやまマイロード」活動区間でそろいのユニフォームを着て清掃美化活動を行っている。この活動の実績が認められ、2007年に活動区間の市道に道路の里親として佐川印刷のネーム標識が設置された。ここまでは多くの企業でも採用されている環境保護活動だが、佐川印刷では「小さなことでもみんなで活動すれば大きなパワーになる！」をモットーに、みんな楽しく続けられるユニークな取り組みを実践している。

絵も読み札もみんなで作ったオリジナルの「エコかるた」を使ってイベントの際に子どもと一緒に遊んだり、環境保護印刷のシンボルマーク「クリオネ」のおりかた動画をYoutubeで配信して次代を担う子どもに環境への関心を遊びながら高める工夫をしている。

- ◆ **【7office:使用済みコピー用紙から自社古紙100%再生の名刺作成サービス】「オフィスの使用済みコピー用紙」から「自社古紙100%再生名刺」を作成するサービスを開始(12/12:Pressrelease.jp)**

<http://pressrelease-jp.com/press/11982/20121212/>

<http://www.7card.jp/7csr/>

法人向け名刺印刷サービスを展開する7office株式会社(本社:山梨県甲府市 代表取締役 清水伸太郎)は、企業法人から出されるオフィスの使用済みコピー用紙を回収再生、自社の名刺として作成還元するサービス【7CSR名刺(セブンシーエスアールめいし 以下7CSR名刺)】を開始いたしました。

- ◆ **【デジタル印刷活用事例_技秀堂:卒園記念オリジナル学習帳】世界にひとつ!! 本文にも自分の名前が入っている卒園記念・入学準備に最適な 1 冊!! 「オリジナル学習帳」の販売を開始 (12/11: SankeiBiz)**

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121211/pr1212111039011-n1.htm>

<http://www.sotsuenkinen.com/>

株式会社技秀堂(所在地:東京都荒川区、代表取締役社長:宗像 章)は、幼稚園と園児それぞれの名前が印刷された卒園記念品「オリジナル学習帳」の販売を開始したことをお知らせいたします。

バリエーション印刷が可能なオンデマンド印刷機をもっと活用しようという課題と、オリジナル性が求められる記念品の性質をマッチさせ、幼稚園の卒業から小学生に向かう年齢に的を絞った学習帳の制作を立案しました。

また意外にも『入学準備』に特化した学習帳は、市場には少ないことがわかり、書店で購入するのではなく、記念品として贈ってもらい多くの園児たちに知識を身に付けて欲しいという想いから卒園記念品の開発にいたりしました。

- ◆ **【特殊印刷の吉岡ロゴテック:邪魔しないマドラー開発】邪魔しない新マドラー開発 眼鏡の加工技術を応用 (12/13: 朝日新聞)**

http://digital.asahi.com/area/fukui/articles/OSK201212120094.html?ref=comkiji_redirect

ココアやカクテルなどを時々かき混ぜるのに、コップやグラスにスプーンやマドラーを入れたままだと飲むときに邪魔になる。かと言って小皿などに置けば滴が垂れてしまう——。そんな悩みを解決し、しかもおしゃれなクリップ機能付きマドラーとココアスプーンを、特殊印刷などを手がける吉岡ロゴテック(福井市花堂南2丁目)が開発した。

その名は「ピックリップ」。福井伝統の高度で繊細な眼鏡フレーム加工技術を応用。グラスやコップなどの縁に止めるクリップ部分には、眼鏡フレームにも使われるしなやかな弾性を備えたチタンを採用した。フレームの微妙な曲げや切断などの技術を生かし、クリップに曲線美を持たせながら加工。スムーズに脱着できるようにした。

- ◆ **【面白グッズ_裏面が電子ペーパーという iPhone ケース】iPhone を裏返すと E-ink 電子ペーパー! 読書家感涙のスマホケース (12/10: TABROID)**

<http://www.tabroid.jp/news/2012/12/iphonee-ink.html>

電子書籍デビューを検討中な我々の心を大きく揺さぶるグッズを発見。なんと iPhone の背面に E-ink 電子ペーパースクリーンを追加してしまうというケース、『popSLATE』です。

ケース内蔵とはいえ、E-ink 自体が省電力も特徴だけにスマホのバッテリーへの影響も少ないと予想されます。

(中略)なにより上の動画で面白いのが iPhone の画面と裏面の E-ink が連動しているような描写があること。何らかのアプリで実現するとは思われますが、この機能そのものもかなり興味深いです。この『popSLATE』はまだ製品化されておらず、現在はオンラインファンドのインディー・ゴーゴー(indiegogo)で出資を募っている段階。

- ◆ **【中笠総合印刷:知多半島観光情報誌第5弾発行】**南吉生誕100年で特集 知多半島の観光情報誌(12/9:中日新聞)

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20121209/CK2012120902000036.html>

知多半島観光情報誌「ぶらりぐるり知多半島」の二〇一三年版ができた。来年、生誕百年を迎える半田市出身の童話作家新美南吉を特集しており、東海四県の書店などで販売されている。

中笠総合印刷(半田市)が毎年発行していて、今回が第五弾。

南吉特集は、半田市の新美南吉記念館の学芸員や小学校教諭らが勧める作品を解説。南吉ゆかりの地を巡る観光コースも写真付きで紹介している。

- ◆ **【兵庫県高校生:地元観光マップを英訳】**高校生が観光マップを英訳 海外観光客にジオPR(12/8:日本海新聞)

<http://www.nnn.co.jp/news/121208/20121208009.html>

海外からの観光客に兵庫県香美町内のジオサイトをアピールしようと、県立香住、村岡両高の生徒有志が、町内の観光スポットを紹介する「香美町マップ」を英訳した。現行の日本語版と一緒に町内の観光施設などで配布している。

地図は両面印刷で、同町の風土が生んだ食文化や地形の成り立ちなどを地図、写真入りで紹介している。香住高は町内の食や温泉、山陰海岸ジオパークの紹介、村岡高は地図上にジオサイトの解説をまとめた面を担当した。各校 10 人前後が英語担当教諭と伝えにくい表現をかみ砕いて英訳し、外国語指導助手が校正した。

- ◆ **【みやぎ生協:復興支援__仮設住宅グループの手作り商品カタログ発行】**仮設グループの製品紹介 みやぎ生協「手作りカタログ」発行(12/6:河北新報)

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/12/20121206t15009.htm>

みやぎ生協は、東日本大震災後の仕事創出に取り組む団体や福祉共同作業施設の製品を紹介する「手作り商品カタログ」を発行した。組合員や全国の生協に送り、商品購入を通じた復興支援への協力を呼び掛ける。

宮城県内を中心に24団体の67品を掲載した。このうちエコバッグは南三陸町水戸辺仮設住宅のグループが製作、繭を使った起き上がりこぼしは仙台市太白区の障害福祉サービス事業所が作る。多賀城市の自立支援施設の障害者が銅線を加工したト音記号のクリップなども紹介している。

- ◆ **【セーラー万年筆:電子文書管理サービス開始】**セーラー万年筆、電子文書の管理サービス(12/11:日本経済新聞)

セーラー万年筆は2013年1月にも電子化した文書の管理サービスを始める。美術館の所蔵品目録などの大量の文書を電子化して保管し、検索や閲覧がすばやくできるようにする。3年後をめどに売上高を年間5億円に伸ばし、少子化などで成長を見込みにくい文具事業を補完する。

システム開発の日本CM(東京・中野)と提携し、日本CMが開発、運営する電子文書保存システムを図書館や美術館、官公庁などに売り込む。デジタル教科書の普及をにらみ、教育機関や出版社の需要も開拓する。

◆ **【インタビュー】モノづくり革命 始まる(12/11:日本経済新聞)**

「新たな産業革命が始まっている」。設計ソフト大手、米オートデスクのカール・バス最高経営責任者(CEO)は米ラスベガスで開いた利用者向け会議の会場でインタビューに応じてこう話した。立体物を印刷に似た要領で簡単に作れる3次元(3D)プリンターの発達などが追い風になり、「大量生産・大量消費を前提にしないモノづくりの道が開かれつつある」と現状を分析する。

「革命」により「大規模生産が難しかった中小企業も大企業と競えるようになるほか、大企業も利用者に応じて製品を調整するなど新たな試みが可能になる」。同社はスマートフォン(スマホ)で何枚か写真を撮ると、撮影した立体物の設計図を自動的に作るサービスなどが人気を集めており、得意とする設計ソフトの領域で新たなモノづくりの普及を後押ししていく構えだ。

◆ **【兵庫県の小中学生:地元特産和紙でカレンダー】特産「和紙」でカレンダー／多可・松井小(12/8:朝日新聞)**

http://digital.asahi.com/area/hyogo/articles/MTW1212082900002.html?ref=comkiji_redirect

多可町加美区熊野部の松井小学校の4～6年生の児童が、特産の手すき和紙「杉原紙」を使った来年の版画カレンダーづくりに励んでいる。地域の病院や公民館、役所などにも師走のプレゼントとして届ける。

(中略)印刷は、杉原紙によくなじみ、風合いを生かせる黒の水性インクを使って仕上げている。それぞれの思いを込めた力作が浮かび上がるたび、児童たちの緊張の表情が緩んだ。

◆ **【共進社印刷:企業のメンタルヘルス対策推進オンラインサービス】日本初の企業向けメンタルヘルス推進オンラインツール『マイメニュー』をリリース ～ 職場のメンタルヘルス(予防・早期発見・復職支援)を総合的にサポート ～(12/6:SankeiBiz)**

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121206/pr1212061108022-n1.htm>

共進社印刷株式会社(所在地:大阪市中央区、代表取締役社長:久保 輝久、以下 共進社)は、企業のメンタルヘルス対策の推進を総合的に支援する、オンラインメンタルヘルスツール『マイメニュー』をリリースしましたのでお知らせいたします。

『マイメニュー』は、企業が従業員に対するメンタルヘルス対策を推進する上で必要とされる「健康増進・メンタルヘルス不調の防止(一次予防)」「メンタルヘルス不調の早期発見(二次予防)」「復職支援・再発防止(三次予防)」の三要素を、実際に企業でメンタルヘルスに取り組む担当者や臨床心理士、専門家の声や要望を集めて開発した、実践型メンタルヘルス推進ツールです。ストレスチェックだけではなく、予防や復職支援も含めた企業向けオンラインメンタルヘルスツールは国内初のサービスとなります。

- ◆ **【ユアプレス(日経印刷):レポート】「ユアプレス」の印刷通販 仕事が見える安心感 受注倍増 (12/6: SankeiBiz)**

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121206/bsl1212060502003-n1.htm>

インターネットを通じ、「ユアプレス」のサイト名で印刷サービスを展開している印刷通販(東京都板橋区)が新規顧客を順調に増やしている。工場見学会を開くなど「顔の見える仕事ぶり」が安心感を生み、チラシやパンフレット、冊子などの受注件数の伸びは前年実績の2倍ペースが続く。激しさを増す低価格競争に挑みつつ、品質の高さでシェア拡大を狙う構えだ。

サービスの開始は、2008年12月の会社設立から半年弱後の09年4月。数百社以上にのぼる先行他社に対抗するため、「低価格グループの一角を占め、サービスの一部は業界最安値にする」(八重樫和義取締役)といった戦略で浸透を図ってきた。

他社との差別化の柱は、ユーザーとの距離感の近さ。利用者からすれば価格とともに安心感が業者選別のポイントとなる。創業から48年を数え、従業員400人が働く母体企業の日経印刷(千代田区)の信用力に加え、グループの主力工場として08年に操業を始めた「グラフィックガーデン」の水準の高さを同社はアピール。工場では板橋区と連携して見学者を随時受け入れ、業界団体主催の「環境優良工場」表彰で12年度の経済産業大臣賞を今秋受賞した。

【イベント・セミナー】

- ◆ **【モリサワ:MORISAWA FAIR 2013(2013年1月23-24日)】モリサワ、今後の印刷ビジネスを展望する「MORISAWA FAIR 2013」を開催(12/11:毎ナビ)**

<http://news.mynavi.jp/news/2012/12/11/173/>

http://www.morisawa.co.jp/corp/news/20121211_01.html

モリサワは、これからの印刷ビジネスを展望するイベント「MORISAWA FAIR 2013」を開催する。開催日時は2013年1月23日、24日 10:00~17:00。会場は大阪市浪速区のモリサワ本社(4Fホール/5Fモリサワスクエア)。

- ◆ **【明治大学生田キャンパス:キャンパスに残っていた偽札印刷工場】偽札製造実態迫る企画展、旧陸軍登戸研究所「5号棟」新資料や現物/川崎(12/10:カナコロ)**

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1212090008/>

現在の明治大学生田キャンパス(川崎市多摩区)敷地内にあった旧陸軍登戸研究所の一つ「5号棟」。戦時中、偽札を製造し謀略戦の核心部分を担ったとされる同棟について、実態に迫る企画展「キャンパスに残っていた偽札印刷工場」が同大平和教育登戸研究所資料館で開かれている。これまで、判然としなかった5号棟の役割。偽札の印刷工場だった可能性を示す新たな資料とともに、偽札の現物も展示される。